



地域ケア会議 (地域ケア個別会議 地域ケア推進会議)

令和5年度 地域づくり加速化事業（全国研修）

医療法人社団 脳健会 仙台東脳神経外科病院
櫻井 健太郎

はじめに



地域ケア会議については、全国研修のコンテンツに既に存在しています。

基礎が知りたい人は、まず令和4年度地域づくり加速化事業全国研修の「地域ケア会議」のコンテンツを見てみましょう。

(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32951.html)

本編は、地域ケア会議がうまく機能していないと感じている市町村に、その背景や要因に何があるのかを振り返るための機会になるよう作成しています。

「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」の連動性や政策形成につなげていく流れを学びましょう。

CONTENTS



目 次

- 1 地域ケア会議の概要・意義
- 2 実施に向けて持つべき視点
- 3 目指すべき効果・成果
- 4 具体的に行うことの例
- 5 振り返り・まとめ

／ おさらい

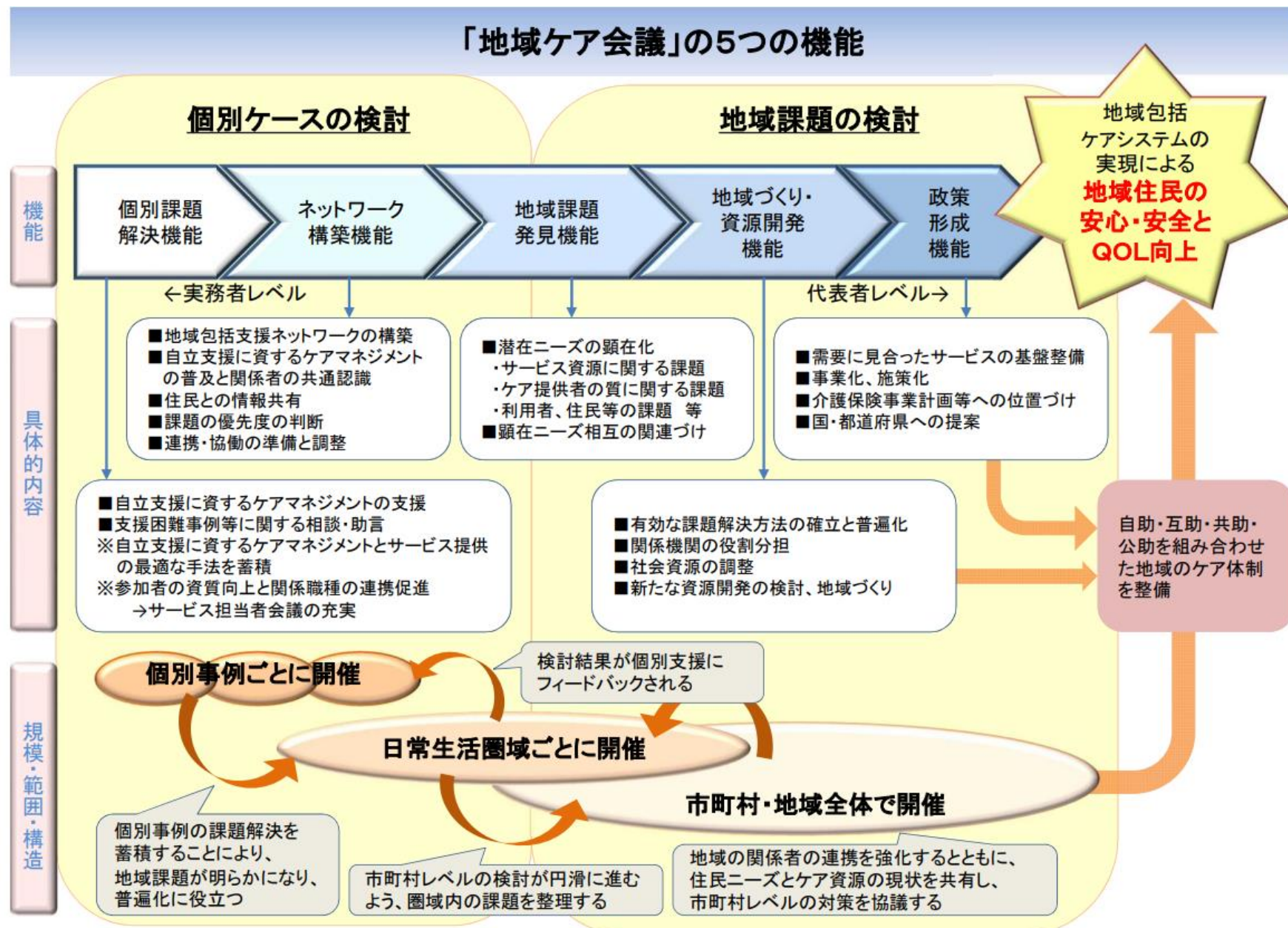
■ 介護保険法 第115条の48

- 1 市町村は、第百十五条の四十五第二項第三号に掲げる事業の効果的な実施のために、介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者、関係機関及び関係団体（以下この条において「関係者等」という。）により構成される会議（以下この条において「会議」という。）を置くように努めなければならない。
- 2 会議は、厚生労働省令で定めるところにより、要介護被保険者その他の厚生労働省令で定める被保険者（以下この項において「支援対象被保険者」という。）への適切な支援を図るために必要な検討を行うとともに、支援対象被保険者が地域において自立した日常生活を営むために必要な支援体制に関する検討を行うものとする。

* 介護保険法 第115条48 1項・2項を抜粋

■ 地域ケア会議は開催の目的方法によって大きく下記の2種類に分類

地域ケア個別会議	個別事例の課題検討
地域ケア推進会議	地域に必要な取り組みを明らかにして施策を立案・提言



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

「地域ケア会議」は 専門職が知恵を持ち寄る場

- 「地域ケア会議」とは、
 - ・ 市町村等が主催し、
 - ・ 医療・介護の専門職に加え、地域包括支援センターや生活支援コーディネーター等の多くの職種が一堂に会することで、
 - ・ 個々の高齢者の課題を明らかにし、効果的な支援方法を幅広く検討するための会議。
- 個別課題の積み重ねから地域課題を発見し、市町村としての政策形成につなげていくことも期待される。
- しかし、残念ながら、うまく機能している地域は多くない。



住民の多様なneedsがあるからこそ個人と地域を両輪で捉える (例)自立支援型

個人の要因

■「こんな生活をしたい」をみんなで考える

- 意欲を引き出し、生活不活発を予防
(運動の種類や方法の助言)
(日常生活動作や活動に関する助言)
- 栄養管理
(食事のメニュー・水分…etc.)
- 内服管理
(多剤併用…etc.)
- 口腔管理
(義歯、セルフケア…etc.)



- 地域の支え合いってどう!?
- 通い場の参加を促すような仕組や声掛けは!?
- 住民は多様な資源を知っている!?
- 医療との繋がりってあったのかな!?
- 交通インフラは整っている!?
- 関わる関係者も同じ目線!?
- 協議体や他の会議でも同じ課題はないか!?

■「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため」をみんなで考える

背景にある要因

住民の多様なneedsがあるからこそ個人と地域を両輪で捉える (例)困難事例

個人の要因

■「こんな生活をしたい」をみんなで考える

- 一人暮らし・神経難病・認知症等
(病診連携の具体的な方法等)
(日常生活のサポート)
- 訪問看護・訪問介護・訪問入浴等
(食事のメニュー・水分・自宅内環境…etc.)
- 内服管理
- 遠方への家族の支援
- 見守りの方法検討…etc.

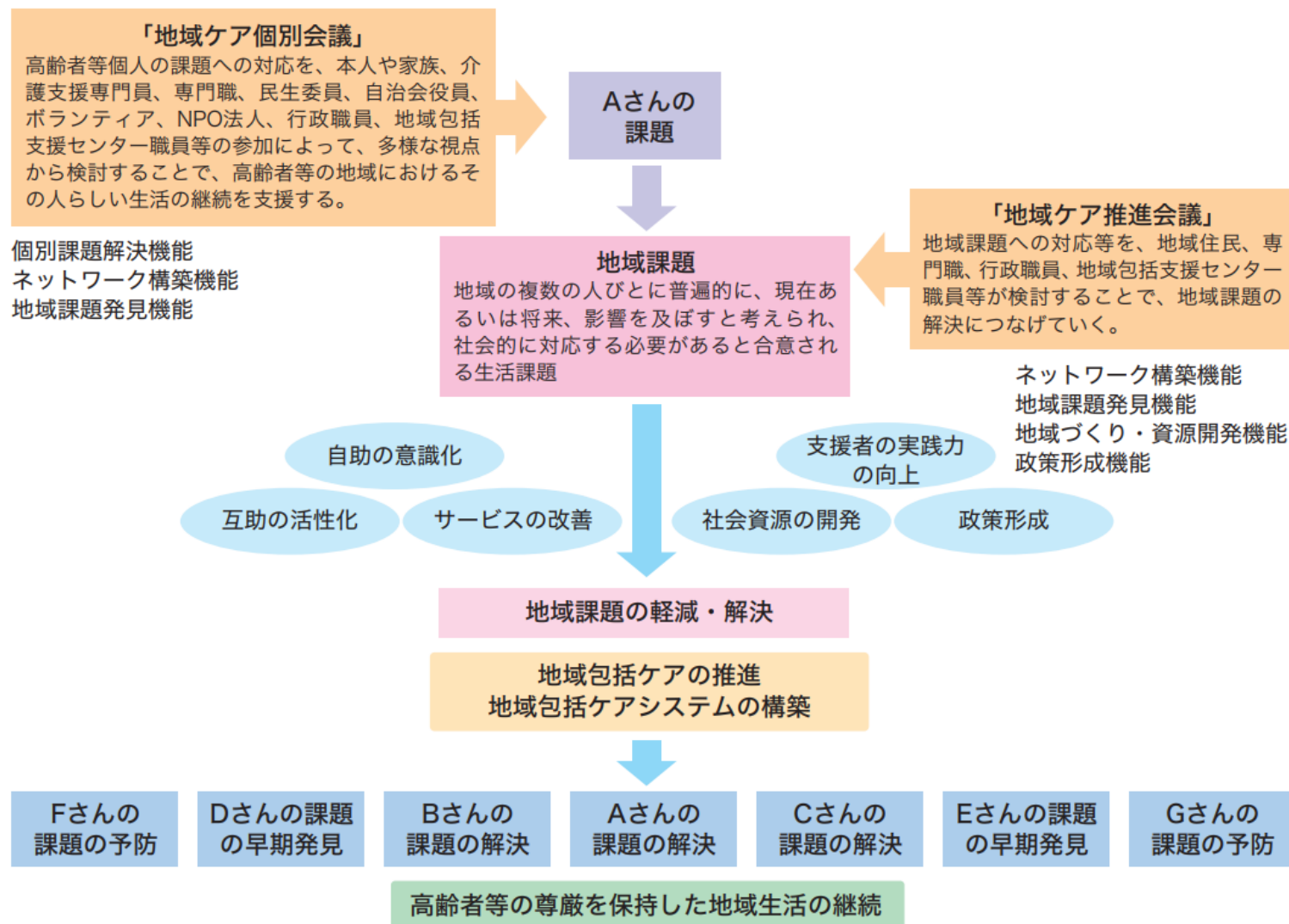


- 24時間の支援は可能!?
- 緊急時の対応は!?
- 関係者との目線合わせは!?
- 疎遠になっている家族の巻き込みは!?
- インフォーマルな資源は!?
- 不足している資源はない!?
- 他市町村でサポートしている例はない!?

■「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため」をみんなで考える

背景にある要因

地域ケア個別会議と地域ケア推進会議の連動性



【出典】一般財団法人長寿社会開発センター 令和4年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 地域ケア会議の効果的な運営の推進に関する調査研究 政策形成につなげる地域ケア会議の効果的な活用の手引きP4 2023(令和5)年3月

我がまちで実施されている地域ケア会議を振り返ってみましょう

☑	地域ケア会議における困難なこと
	①我がまちの地域ケア会議の体系を構築できない
	②「地域ケア個別会議」で建設的な議論ができない
	③「地域ケア個別会議」で必要性の高い事例を検討できない
	④「地域ケア個別会議」で地域課題・自立促進要因を把握できない
	⑤ケースの蓄積から地域課題・自立促進要因を把握できない
	⑥複数の地域課題で終わってしまう
	⑦地域課題の解決につなげられない
	⑧「地域ケア推進会議」で建設的な議論ができない
	⑨地域の人びととともに地域課題の対応策について検討できない
	⑩地域課題の解決に向けた政策形成ができない
	⑪地域ケア会議を継続して活用できない

【出典】一般財団法人長寿社会開発センター 令和4年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 地域ケア会議の効果的な運営の推進に関する調査研究 政策形成につなげる地域ケア会議の効果的な活用の手引きiv～v項 2023(令和5)年3月

地域ケア会議の活用における困難を解決するためのポイント一覧(チェック表)

チェック	*下記ポイントの主旨を自らの市町村に置き換え、できているかチェックしてみてください。
ポイント1	地域ケア会議の目的と機能を十分に理解する
ポイント2	わがまちの地域包括ケアシステムのビジョンを明確にして共有する
ポイント3	関連する会議や活動を整理して地域ケア会議の活用目的を明確にする
ポイント4	「地域ケア個別会議」と「地域ケア推進会議」が連動する体系をつくる
ポイント5	地域課題を把握・整理・仕分けする場を設ける
ポイント6	「地域ケア推進会議」と他の会議や事業と連動する体系をつくる
ポイント7	自治体の規模に応じて、全体として地域ケア会議の機能を果たせる体系をつくる
ポイント8	市町村と地域包括支援センターが話し合って構築する
ポイント9	地域ケア会議の成果に関する評価を行う
ポイント10	地域ケア会議運営の振り返りによって体系を見直す
ポイント11	「地域ケア個別会議」の目的・目標を明確にし、参加者で共有する
ポイント12	参加者の対等性を担保したルールを徹底する
ポイント13	ケースを見立てられるファシリテーターを養成する
ポイント14	発言を引き出し、整理するファシリテーターを養成する
ポイント15	論点を整理し、合意を形成するファシリテーターを養成する
ポイント16	発言を簡潔に要約し見える化できる記録者を養成する
ポイント17	「地域ケア個別会議」の運営に関する評価を行い、運営を見直す
ポイント18	効果を感じられる事例の検討から始める
ポイント19	個人情報の取り扱いを決める
ポイント20	「残された課題」に注目し、普遍化する視点を共有する
ポイント21	「自立促進要因の種」とは何かを共有する
ポイント22	個別ケースの検討の最後に「地域課題の種」と「自立促進要因の種」を把握する
ポイント23	他者が理解できるレベルまでキーワード化する
ポイント24	複数の事例を横断して地域課題・自立促進要因の種をみる
ポイント25	「地域課題の種」「自立促進要因の種」を検証して地域課題・自立促進要因を把握する

チェック	*下記ポイントの主旨を自らの市町村に置き換え、できているかチェックしてみてください。
ポイント26	地域課題をレベルで分ける
ポイント27	複数の地域課題を類型化して仕分けする
ポイント28	取り組むべき地域課題の優先順位を決める
ポイント29	地域課題・自立促進要因を構造的に把握する
ポイント30	地域包括支援センターの事業計画に組み込む
ポイント31	地域包括支援センター運営協議会で検討する
ポイント32	既存の事業を活用する
ポイント33	「地域ケア推進会議」の目的・到達目標を明確にし、参加者で共有する
ポイント34	地域課題の背景要因を複数示す
ポイント35	「地域ケア推進会議」の運営に関する評価を行う
ポイント36	地域の人びとの関心を理解する
ポイント37	地域の人びとの声から地域課題を把握する
ポイント38	地域アセスメントのもと地域の人びとにはたらきかける
ポイント39	誰もが理解でき、自分たちが必要とされていると感じるプレゼンテーションを行う
ポイント40	地域の社会資源を活用する
ポイント41	市町村の役割を再確認する
ポイント42	地域課題に対応する必要性の根拠を得る
ポイント43	具体的な提言をまとめる
ポイント44	提言実施の予測結果を示す
ポイント45	組織アセスメントのもと庁内での理解をひろめ、連携体制を構築する
ポイント46	地域課題の検討の場に権限のある人に参加してもらう
ポイント47	議会対応の準備をする
ポイント48	業務を標準化するマニュアルやフォーマット等を作成する
ポイント49	ファシリテーターと記録者を継続的に養成する
ポイント50	誰もが参加してよかったと思える地域ケア会議を開催する

【出典】一般財団法人長寿社会開発センター 令和4年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 地域ケア会議の効果的な運営の推進に関する調査研究 政策形成につなげる地域ケア会議の効果的な活用の手引き vi～vii項 2023(令和5)年3月

ポイント①

我がまちの地域包括ケアシステムのビジョンを確認し、関係者に明示する

ポイント②

我がまちの現状を定量的、定性的データを合わせて分析し、課題を整理する

ポイント③

我がまちのビジョンに近づくために必要な地域ケア会議をデザインする

ポイント④

対象者のしたいこと、できるようになりたいことが実現できるか検討する
そこに住まう住民がこれからも暮らし続けられる地域かを確認する

ポイント⑤

個別事例のモニタリングや地域課題への対応状況を確認し、目的に
適っているか、効果的な会議になっているかを構成員とともに確認する

ポイント⑥

個別事例の課題は個人因子による特異的なものか、一定以上普遍的なもの
(地域課題の種)かを整理・地域課題を仕分けて可視化する(関係者と共有する)

ポイント⑦

担当部署だけで対応困難な課題は庁内連携を通じて解決を図り、住民との
協議が必要な場合は、生活支援コーディネーター等を通じて協議体での
議論へつなげる

ポイント⑧

我がまちの「地域づくり」を意識し、地域課題の対応が、そこに住まう住民の
地域生活の継続につながったかを振り返る

我がまちのビジョン

地域共生社会の実現

- ①介護予防日常生活支援総合事業の充実
- ②生活支援体制整備の充実
- ③認知症施策の推進
- ④医療・介護連携の強化
- ⑤適切な介護サービスの提供
- ⑥適切なケアマネジメントの実施
- ⑦地域の関係者のネットワーク構築(ビジョン達成までの仲間作り)

- ・ 会議に参加する関係者(専門職等)
 - ・ 介護支援専門員
 - ・ 介護サービス事業所等
 - ・ 民生委員や住民等
- ↓
- ・ 規範的統合(目線合わせ)

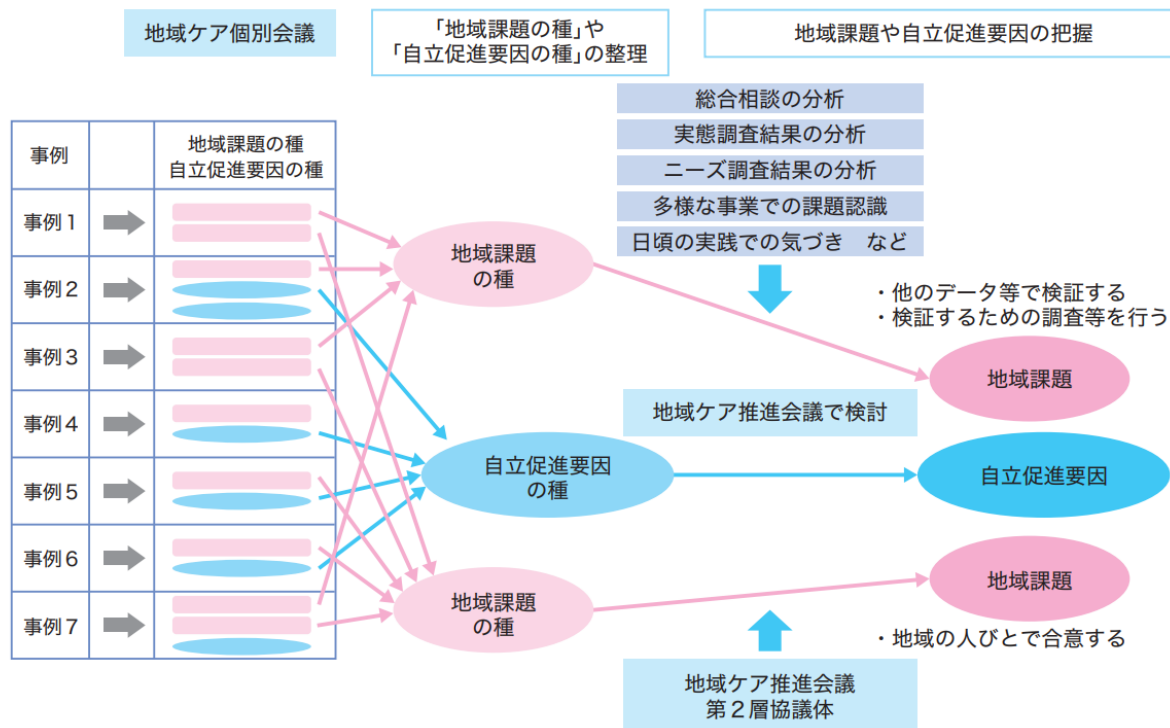
- ・ 庁内連携
- ・ 他の会議体との連動
- ・ 協議体との連動
- ↓
- ・ 規範的統合(目線合わせ)
- ・ 施策形成・地域づくりの促進

個別課題の解決 ↔ 地域課題の解決



お悩みポイント①：地域課題・自立促進要因を把握できないのですが…

事例の蓄積から地域課題の種、自立促進要因の種を横断的に分析する



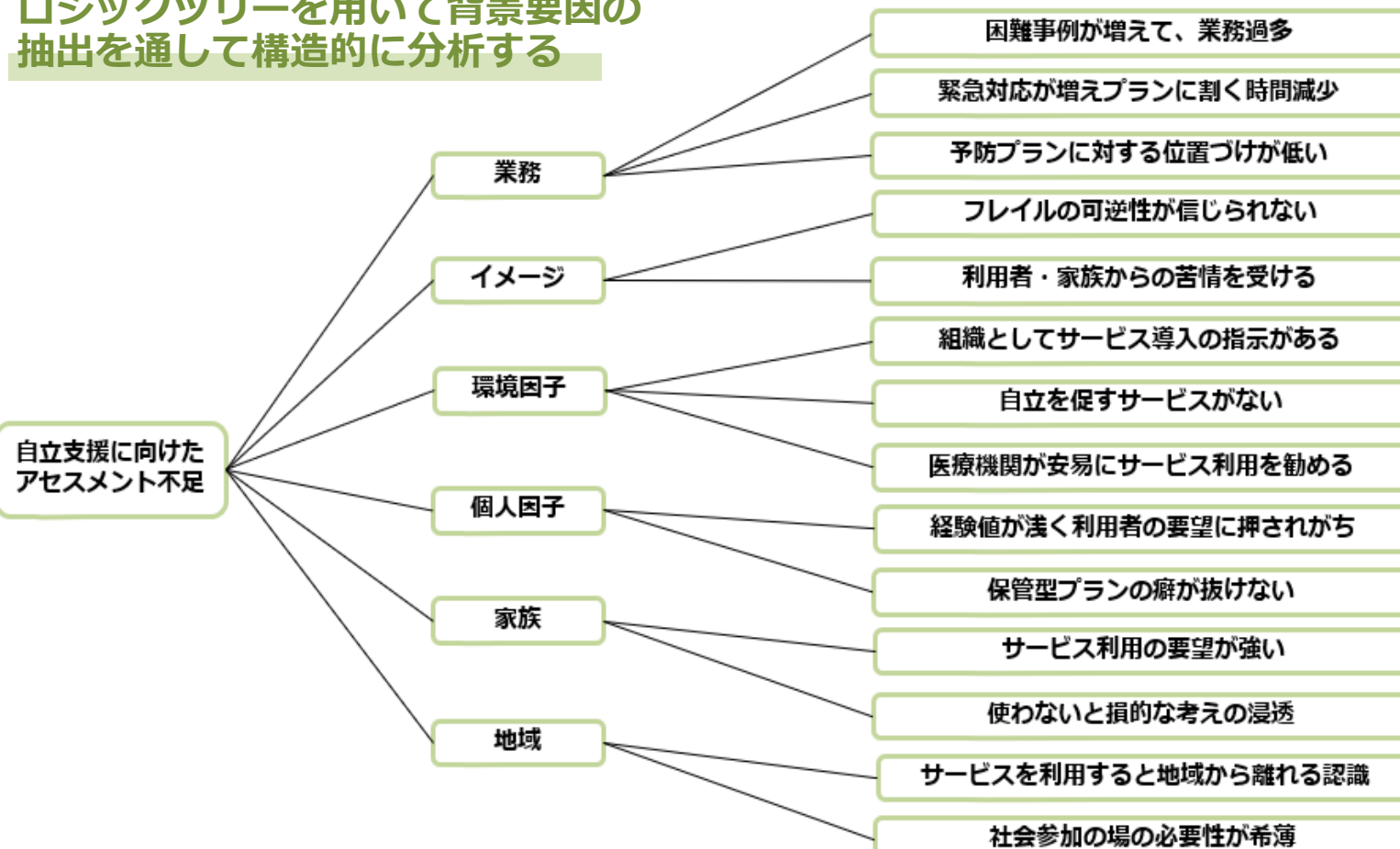
出典:東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課『令和元年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修事業【文章版研修テキスト】』2020年、36ページを一部改変

複数の事例に共通しているかどうかの視点で把握し、横断して把握できる課題や自立促進要因に注目します。



お悩みポイント②：地域課題の解決につなげられません…

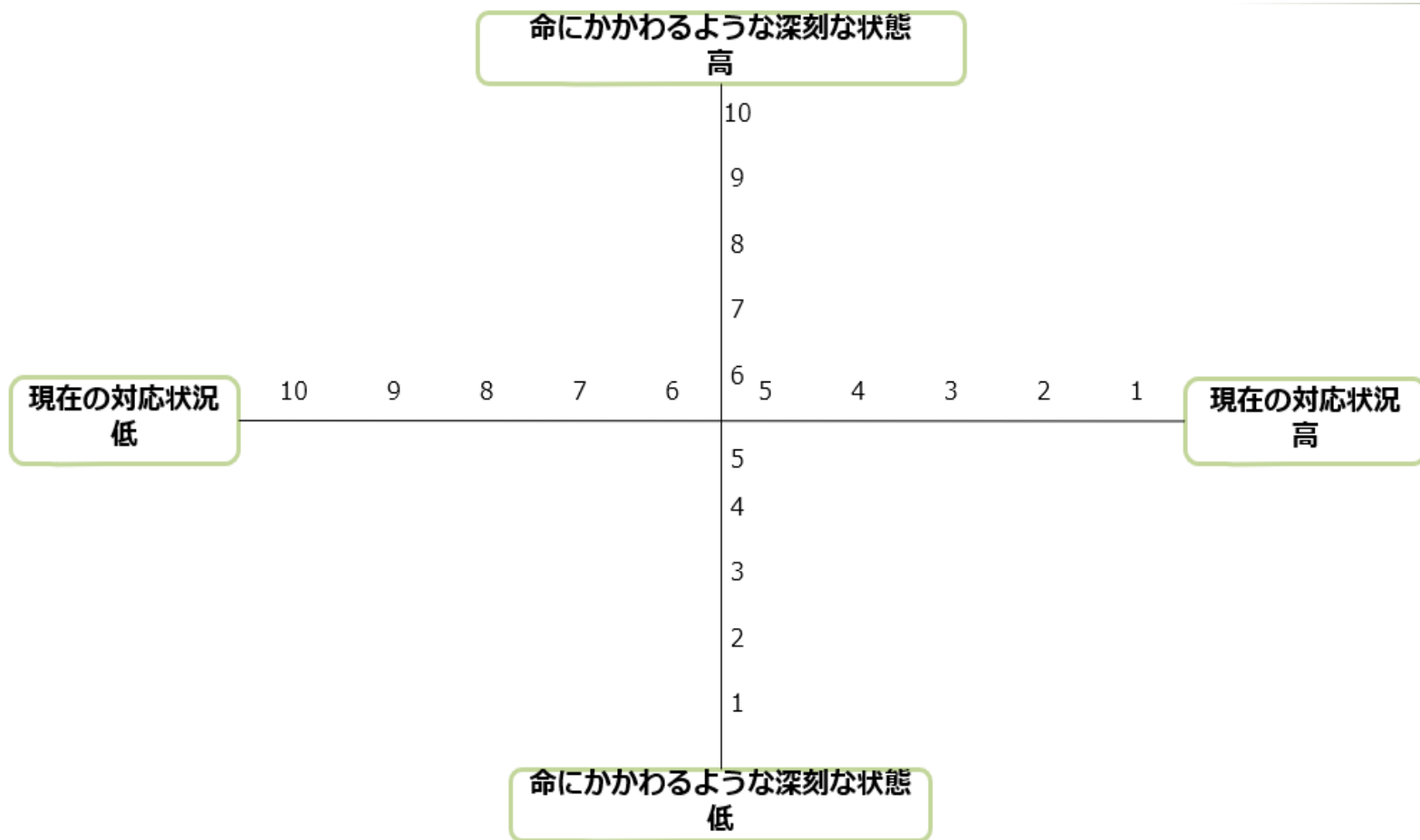
ロジックツリーを用いて背景要因の抽出を通して構造的に分析する





お悩みポイント③：複数の地域課題の把握で終わってしまいます…

地域課題から優先順位を考える(深刻度と対応状況を軸としたマトリクス整理表)





お悩みポイント④：ファシリテーターが会議を回すことで手一杯です…

「地域ケア個別会議」の主催者・ファシリテーターの振り返りシート例

	とてもできた	まあできた	あまりできなかった	まったくできなかった	不明
①「地域ケア個別会議」の目的を明確にしたか	4	3	2	1	
②目的と事例は合致していたか	4	3	2	1	
③目的に応じた参加者を選んだか	4	3	2	1	
④「地域ケア個別会議」の開催に向けて事例提供者をサポートできたか	4	3	2	1	
⑤依頼した参加者は全員出席していたか	4	3	2	1	
⑥参加者全員が議論に参加できていたか	4	3	2	1	
⑦多様な視点から議論できていたか	4	3	2	1	
⑧建設的な議論を促進できたか	4	3	2	1	
⑨「地域ケア個別会議」開催後の対応方法について決定できたか	4	3	2	1	
⑩地域課題を把握できたか	4	3	2	1	
⑪個人情報の保護を徹底できたか	4	3	2	1	
⑫時間内に「地域ケア個別会議」の目標を達成できたか	4	3	2	1	
⑬決定した対応方法等を実践できているか	4	3	2	1	



お悩みポイント④：ファシリテーターが会議を回すことで手一杯です…

「地域ケア推進会議」のファシリテーターのチェック項目例

☑ ファシリテーターがなすべきこと

- ①会議の目的を明確にできているか。
- ②会議の到達目標を明確にできているか。
- ③会議の到達目標を達成するために適切な参加者を選んでいるか（留意すべき関係を含む）。
- ④会議の検討事項と全体の進め方を計画しているか。
- ⑤司会者から課題提起をする場合には、それを行うための準備ができているか。
- ⑥会議の到達目標に向けて建設的な議論を行うために適切なツールの使用を検討しているか。
- ⑦開催日時や会場は適切か。
- ⑧会場の机やイスの配置は話しやすいものになっているか。
- ⑨グループで話し合う場合には、目標を達成するのに適切なグルーピングができているか。
- ⑩検討事項に関する参加者の理解度や意欲を把握しているか。
- ⑪参加依頼の方法は適切か。
- ⑫必要に応じてはたらきかけをしているか。
- ⑬参加前の宿題の必要性を判断し、必要な場合には事前に依頼しているか。
- ⑭会議の目標を達成するために必要な資料や物品が準備できているか。
- ⑮記録者等と打ち合わせをしているか。

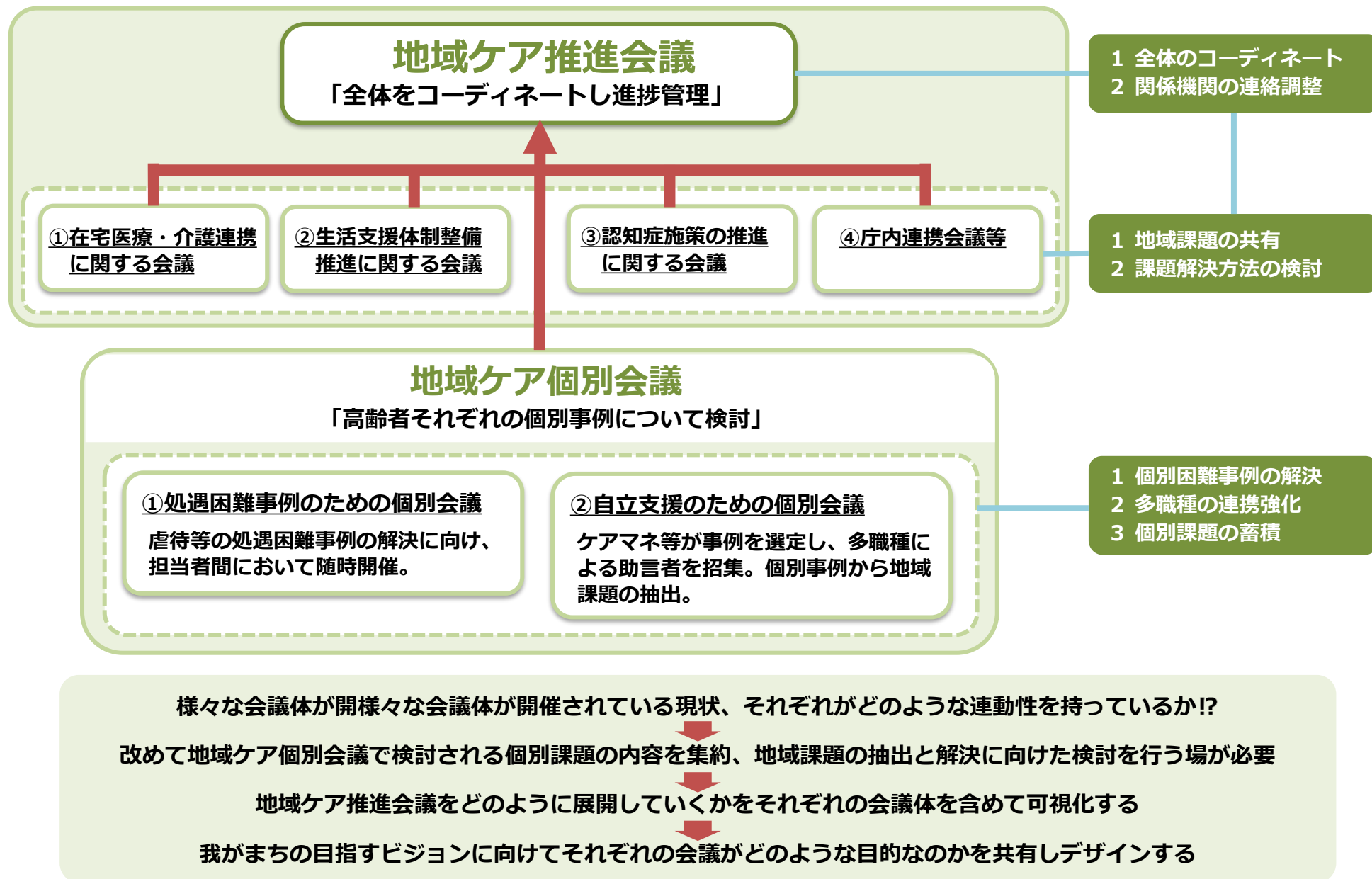


お悩みポイント⑤：我がまちの地域ケア会議の全体像の整理に難渋しています…

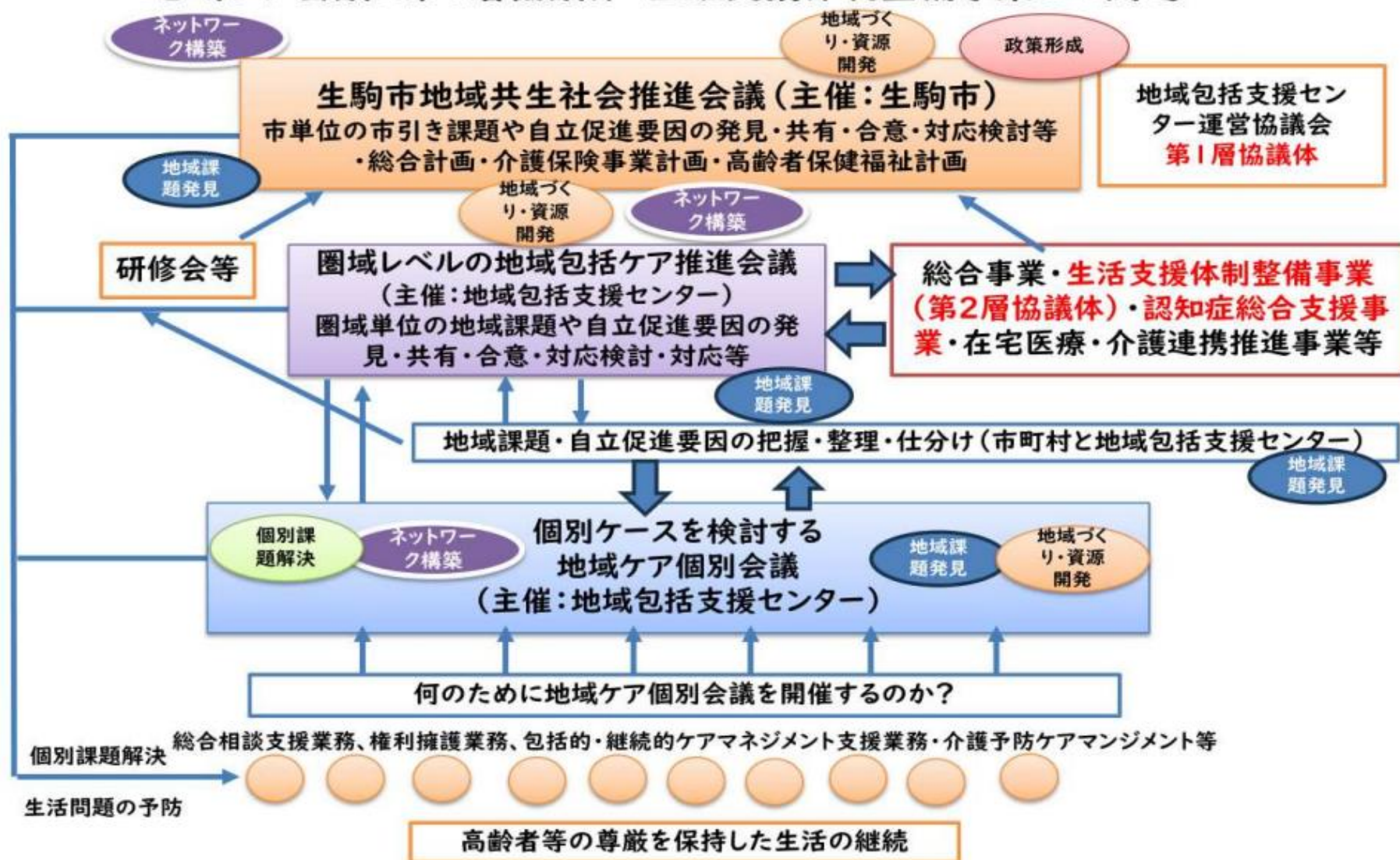
地域ケア会議や活動等の整理例

* 注：下線が主催者

レベル	会議や活動	目的	参加者	概要	機能等					
					個別課題解決	介護支援専門員の実践力向上	ネットワーク構築	地域課題発見	地域づくり・資源開発	政策形成
個別	介護予防のための地域ケア個別会議	介護予防に資するケアマネジメント力を高める	担当 CM、包括、PT、OT、ST、管理栄養士、歯科衛生士等	要支援高齢者のケアプラン案をもとに多職種で検討する（月1）	○	◎	◎	○	×	×
	CMの支援困難サポートのための地域ケア個別会議	CMの支援困難に対応するとともに、実践力を高める	CM、包括、支援困難に応じた専門職や民生児童委員等	CMが支援に困難を感じている事例を多様な視点から検討する（随時）	○	◎	◎	○	×	×
圏域	地域課題検討のための地域ケア推進会議	地域課題の把握・対応を検討する	包括、生活支援C、社協CSW、民生委員、自治会長等	地域ケア個別会議の検討事例や地域の声から地域課題を把握して対応を検討する（2か月1）	×	×	◎	◎	○	×
	第2届協議体	地域課題の把握・対応を検討する	包括、第2届生活支援C、社協CSW、民生委員、自治会長等	地域住民の声等から地域課題を把握して対応する（月1）	×	×	◎	◎	◎	×
市	地域課題の整理のための会議	市の課題として把握する	包括センターの所管課、高齢課、地域課、障害課、包括、社協、第1届生活支援C等	地域ケア会議や関連事業から把握した地域課題を総合的に市の課題として把握する（半年に1）	×	×	○	◎	○	○
	政策形成のための地域ケア推進会議	市の課題の対応を検討する	副市長、市職員	把握された市の課題に対する対応を検討する（半年に1）	×	×	○	◎	○	◎



地域ケア会議と第1層協議体・生活支援体制整備事業との関連





お悩みポイント⑤：庁内連携が課題です…

庁内連携におけるWin-Winについて

介護保険課の施策

・通いの場を展開している

他課の施策

一方、地域づくり課では…

・民間事業者と連携し、公民館等への移動販売を行っている

一方、市民生活課では…

・食品ロス削減運動に取り組んでいる

一方、防災関係課では…

・防災ハザードマップを作成し周知している

両課にとってのWin-Win

移動販売が「通いの場」にも停留できるよう両課が連携することで、身近な地域で買い物ができるようになるとともに、通いの場の参加率も上がるのでは？

自宅で余っている食料品を通いの場で集め、それを地域食堂や子ども食堂で活用。両課の既存施策の情報を共有し施策同士を掛け合わせることでWin-Winに繋がるのでは？

市職員や市民活動団体が講師となり、通いの場で防災勉強会を実施。両課が連携することで、地域における助け合いの関係性が醸成されるのでは？

関係各課にとってのWin

出典：令和3年度介護予防・日常生活支援総合事業等の実施プロセスに関する調査研究事業
厚生労働省職員派遣市町村支援 鹿児島県日置市現地支援資料

地域課題の解決に向け、庁内連携推進会議への旗揚げ！ win-winが鍵となる！

出典：令和3年度介護予防・日常生活支援総合事業等の実施プロセスに関する調査研究事業
厚生労働省職員派遣市町村支援 鹿児島県日置市支援まとめ資料

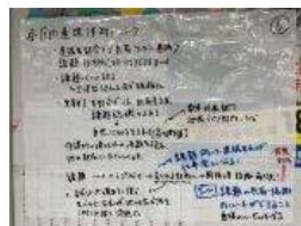
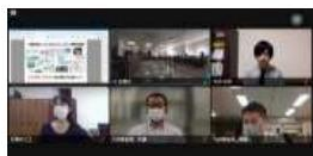
鹿児島県日置市



初回支援：日置市長も意見交換会に参加



地域ケア個別会議を大切にしてきた結果、
地域課題が複数まとまってきたが次への展開に悩む
日置市担当課&地域包括支援センター等



午後からは今後の進め方を検討



市長や3役、管理職が
集った研修では多くの
気付きが生まれました！



講話の後は、意見交換 たくさんの意見が出てきました！



第2回目支援：担当課だけでは解決できない問題が
多々あるため、庁内連携会議に向けた旗揚げが必要！



どんな
戦略を
立てる
のか？



地域ケア個別会議
から抽出された、
地域課題の解決
に向け、他課にも
協力を依頼したい！



第3回目支援：ALLひおきでみんなが住みやすい日置市へ



どんな風に旗揚げすれば、関係各
課が動いてくれる？
みんな忙しい！巻き込まれ感なく、
一緒に取り組める
ようにするにはどうしたらいい？
Win-winの関係構築・・・こ
うした事例をたくさん紹介

振り返り・まとめ

- 1 地域ケア会議の目的・意義、機能を関係者と共に理解する
- 2 関係者と共に目指すべきありたい姿を共有し、課題解決のためにケア会議をデザインする(活用目的の共有)
- 3 個別事例の検討と地域課題を両輪で捉え、ある特定の個人から、その地域の方々が暮らし続けるために抽出された地域課題を明確化する
- 4 課題解決は庁内連携、他の会議体、協議体とも連動しながら、関係者が一緒になって解決を図る
- 5 「地域づくり」を意識し、地域課題の対応が、そこに住まう住民の地域生活の継続につながったかを振り返る

■ 一般社団法人 長寿社会開発センター

- 令和4年度老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業
地域ケア会議の効果的な運営の推進に関する調査研究
政策形成につなげる地域ケア会議の効果的な活用の手引き(令和5年3月)
<https://nenrin.or.jp/chiikicarekaigi/index.html>
- 地域包括支援センター運営マニュアル3訂 (令和4年4月)
- 地域ケア会議運営ハンドブック (平成28年6月)
- 地域ケア会議運営マニュアル(平成25年3月)